

1月から3月の劇列車

1月から3月の劇列車は、いくつもの企画が同時進行します。現在のところ、公演数3回、ワークショップ3回が目白押し。ここで出会う皆さんに喜んでもらえるために、全力投球で臨みます。

期日	内容	場所
1月14日(日)	パペットシアターPROJECT 【連携団体/ボナベティ】 (「一郎くんのリスタート」上演と対話のひろば)	久留米市御井校区コミュニティセンター
1月23日(火)	安武保育園巡回公演 (「ちょうふく山のやまんば」上演)	久留米市安武保育園
2月8日(木)	パペットシアターPROJECT 【連携団体/みんなの学び館】 (「一郎くんのリスタート」上演と対話のひろば+人形ワークショップ)	福岡市ふくふくプラザ
2月12日(日)	親子であそぶ人形劇がっこう (ワークショップ)	筑紫野市文化会館
2月23日(金)	演劇と教育研究委員会 (西短付属高城貴恵さんより報告)	久留米市公共施設(未定)
2月24日(土) 25日(日)	子ども人形げきがっこう(小学校低学年編) (ワークショップ)	久留米市石橋文化センター
3月17日(日)	P新人賞受賞記念久留米公演 (「さちの物語」上演と対話のひろば)	久留米市石橋文化センター
3月23日(土) 24日(日)	子ども人形劇がっこう(小学校中・高学年編) (ワークショップ)	久留米市石橋文化センター

劇列車新作予告

「うしかたやまんば」

低年齢向き作品。親子の皆様、どうぞお楽しみに。

2024年7月8日(土)、久留米シティプラザ久留米座で初演予定(幼稚園主催行事のため非公開)。7月21日(日)おやこ人形劇場(石橋文化センター)で一般公開。

ひさしぶりの昔話を題材にした人形劇。「さちの物語」が出来るまで、3年間封印していた「楽しい作品」にしたいと思います。社会と人間をみつめる「さちの物語」同様、御期待ください。



事務局 | 福岡県久留米市山本町耳納838-1 アトリエ | 福岡県朝倉市秋月197「アトリエ山猫舎」
電話 | 090-8222-8928 (釜塚) メール | info@dramatrain.jp ホームページ | http://www.dramatrain.jp

劇列車の活動を伝えるブログ「劇列車の地獄的日々」
週1回めやすで更新中～QRコードからブログへアクセス→



特集

P新人賞受賞記念久留米公演「さちの物語」

日本児童青少年演劇協会「児童青少年演劇のための劇作家養成講座」脚本賞受賞作品
P新人賞受賞記念久留米公演



一番聞いてほしいことは、
一番言いたくないこと。
さちの物語

| 日 時 | 2024年 3月17日(日) 15:00開演(14:30開場)

| 場 所 | 石橋文化センター 石橋文化会館 小ホール

| 前売料金 | ・大 人 …………… 1,800円

・高校生以下 …………… 500円

・寄付つきチケット★ …… 3,000円 ★3Pに詳しく記載

| 後 援 | 久留米市教育委員会, 公益財団法人久留米文化振興会

P新人賞とは?

人形劇のあらたな可能性をひらこうと、文化庁・愛知人形劇センターが開催してきた全国的コンクール。舞台アート工房・劇列車は「一郎くんのリスタート(旧名どんぐりと山猫というはなし)」で、P新人賞2022を受賞しました。

児童青少年演劇のための劇作家養成講座 脚本賞とは?

日本児童青少年演劇協会が主催する劇作家養成講座に提出された脚本のうち、優秀作1本に与えられる賞。選考委員はふじたあさや氏、森田勝也氏。舞台アート工房・劇列車は、「さちの物語」で受賞しました。

「さちの物語」は、傷ついた心を抱えた少女の物語 ——少女が立ち上がるきっかけをつかむ物語

貧しいことも自己責任。
冷酷と無関心、増していく。壊れたいま。

劇の主人公田中さちの家庭は、貧困家庭。
DVが吹き荒れる。それが日常。
さちの小学校時代は、いじめで不登校。
中学時代は、仮面登校。
中学3年生のさちは、心を隠す。
言いたいことは山のようにあるのに。

そんなさちが、
立ち上がるきっかけをつかむ。



人間の立ち上がりを探る 人間と人形のコラボレーション

上演45分+対話のひろば30分で、
困難を抱えるこどもの立ち上がりについて
深め合います。

対話のひろばとは？

劇を観て心が何かを発見する。それを秘
めておらずに、私の発見とあなたの発見を
共有（シェア）しあう。複数で深めあう対
話の場、それが対話のひろば。観劇後に希
望者で開催されます。

寄付つきチケット販売を スタートします！

寄付つきチケットとは、パペットシアターPR
OJECT（困難を抱えるこどもへの文化体験支
援）持続のための寄付がついたチケットです。価
格3,000円のうち、1,200円がパペット
シアターPROJECTへの寄付となります。弊
団体は、パペットシアターPROJECTを、2
020年度にちくご川コミュニティ財団様の子
ども若者応援助成を受けてスタートさせました。そ
れ以来、アウトリーチ型文化体験支援事業として
持続してきました。

外国籍の子ども（外国にルーツを持つ子ども）、
不登校の子ども、困窮家庭の子ども等へ、無料の
文化体験支援を届けています。

作者のことは

傷ついた心の回復とは？傷ついた心が立ち上がること

主人公田中さちのような子どもは、現代日本にたくさんいます。
私自身がそんな子どもでした。この子たちは、こう思います。
「自分は周りとちがう」と。そして、劣等感が増幅し「自分はど
うせ・・・」と思うようになります。人生に投げやりになってい
きます。そこからの回復とはどういうことか？そもそも回復とは
何なのか？それを探りたくて、脚本初稿から1年半にわたって、
何十回も書き直しすることになりました。

皆様に御覧いただいて、「回復」について対話のひろばで深め
合いたい。それができたら、これほどうれしいことはありません。

きっと誰もが勇気づけられる作品だ！ 『野球部員、演劇の舞台に立つ！』著者 竹島由美子

貧困から生じる差別や虐待など様々な困難を背負って生きる中学生のさちは、時に
激しい口調で観客に訴えかける。やがてその言葉はさち個人というよりも、いまの社
会の中で「生き辛さ」を抱える多くの子どもたちの声に聞こえてくる。さちの自己回
復を願う人形劇クラブ顧問の正と、変わりたいと闘うさち。そんな二人の向こうに、
製作のプロセスが見えてくる舞台だ。何度も何度も考え悩み、書き直したに違いない。
そして辿り着いた一つの結論。二人と五体の登場人物と製作者たちが、妥協すること
なく創り上げた真摯な舞台だからこそ、観終わって腑に落ちた。「負けるな、さち！」
と観客席から応援していたはずなのに、いつの間にか舞台上のさちから、背中を押さ
れたような爽快感を覚えた。きっと誰もが勇気づけられる作品だ。

さちの物語 名古屋公演の様子



昨年12月17日（日）
名古屋市損保ジャンパン
ひまわりホールにて撮影。



この公演終了後、「さちの物語」に対し
て日本児童青少年演劇協会からの脚本賞
授賞式が行われました。写真は賞状を手
渡す審査委員ふじたあさや氏。

2023年度 パペットシアター PROJECT の御紹介

■ 2023年11月19日（日）

久留米市立K小学校で 人形劇ワークショップ

外国籍（外国にルーツを持つ）子ども
たちや保護者のみなさんと、人形工作
と人形劇あそびワークショップを開催。
楽しい時間となりました。



■ 2024年1月14日（日）

ボナペティさんと連携して 観劇会と対話のひろば

ボナペティさんは、「ストップ！食の
貧困と心の貧困」を掲げて、久留米エ
リアで活動してある市民が立ち上げた
フードライブ団体。ボナペティさん
と連携して、「一郎くんのリスタート」
観劇会と対話のひろばを開催しました。



■ 2024年2月8日（木）

みんなの学び館さんと連携して 観劇会と対話のひろば

開催予定。